

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日 更新

事務事業名		生涯学習施設更新計画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	3	教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	北里利朗	
	施策	10	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	石田祐介	
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備				所属班	生涯学習班	(内線)	1516	
予算科目		会計一般	款10	項5	目2	事業連番11699	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	多くの生涯学習施設は建築後20年を経過しており、雨漏りや壁面の亀裂、更には付属機器の故障等が突発的に発生し、緊急に対応している。特に施設運営に支障を及ぼす機器の故障が発生した場合、長期間の利用ができなくなる恐れがあるため、健全な財政計画を建て、優先順位に基づき施設更新を行い生涯学習の推進を図っていく。
【業務の流れ】	設計→入札→契約→報告書確認検査→支払い→中長期計画作成
【主な予算費目】	<small>○対象施設：現代生活センター、豊野市民センター、豊野市民センター、豊野市民センター、豊野市民センター、豊野市民センター、豊野市民センター 事業費目：委託費 ○対象施設：総合センターヴィーブル</small>
【意見や要望】	各施設の管理に民間事業者のノウハウ、競争原理によるコスト削減、利用者のサービス維持、地域の雇用等を考慮し指定管理者制度の検討が求められている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	施設基礎調査業務	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 中長期計画作成
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	更新調査を行う施設数	予算の主な増減の理由 箇所：施設調査業務委託費の減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民、市外からの通勤・通学者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) 施設利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	活動する場がある	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) 学習に親しむ施設が整っていると思う市民の割合 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	箇所			0	11	0	0	0	0	0
② 対象指標	人			0	59,023	0	0	0	0	0
③ 成果指標	%			0	61	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円			19,124	5,616			
	(A) 事業費計	千円	0	19,124	5,616	0	0	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	0	2	0	0	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	0	200	0	0	0	0	0	
(B) 人件費計		千円	0	796	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	19,920	5,616	0	0	0	0	

事務事業名	生涯学習施設更新計画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②29年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						